

第8回産業技術大学院大学デザインコンテスト実施 デザイナーを目指す学生へ ダイナミックなデザインで未来に挑戦しよう！

産業技術大学院大学（学長：石島辰太郎）は、本学の創造技術専攻が取り組む「感性と機能を融合したものづくり」への理解を深め、未来のデザインプロフェッショナルを発掘・育成することを目的として、今年も新しい製品やサービスにつながるデザインを募集するデザインコンテストを実施します。
国内のほか、アジア12カ国を公募対象とした国際的なコンテストとして開催します。



デザインにおいて「回転」とは、Roll, Rotate, Revolve, Twist, Cycleのように多様な意味をもちます。そこでこの「回転」というテーマのもとに、感性デザインと機能性デザインの知識を駆使して、これまでのプロダクトをリデザインする、あるいは全く新しい発想でデザインするなど、新しいコンセプトを持った創造的で合理的な、実現性の高いものを提案してください。

 **賞** 最優秀賞 1点（賞状、副賞30万円相当） / 佳作 若干（賞状、副賞5万円相当）

 **応募作品など** 募集テーマに沿った新規アイデアに基づく未発表の作品

 **応募資格** ① 産業デザインに関心のある日本全国の大学院、大学、短期大学、高等専門学校（本科・専攻科）、高等学校、専門学校の学生
② APEN※ 加盟大学が所在する国（アジア12カ国）の高等教育機関に在籍する学生

※Asia Professional Education Network（アジア高度専門職人材育成ネットワーク）

大学(大学院)教育における高度産業人材開発方法として優れているPBL型教育を発展させ、かつアジアに普及することを目的として、本学が主導して2011年に設立した国際組織。現在、13カ国(日本/中国/韓国/ベトナム/カンボジア/インドネシア/タイ/マレーシア/ラオス/シンガポール/フィリピン/ブルネイ/ミャンマー)の大学が加盟している。

 **応募受付期間** 平成26年11月4日（火）～12月1日（月）【郵送及びメール必着】

 **発表** 平成27年1月～2月（予定）

 **表彰式** 平成27年2月～3月（予定）

<http://aiit.ac.jp/>

aiit

← 検索はこちら

第7回(平成25年度) 最優秀賞作品 テーマ『きざし』

「みるみるえがお 一笑顔になれる鏡」

村野 朱苑（受賞時：札幌市立大学2年生）

みるみるえがお 😊

- 笑顔になれる鏡 -

Concept

「みるみるえがお」は見る人を笑顔にさせてくれる鏡です。みなさんはちゃんと毎日笑っているでしょうか？笑うことは気分を明るくするだけでなく、身体の健康にも良い影響を与えるとされています。悲しい時や辛い時、疲れてしまった時にこそ、この「みるみるえがお」を使って笑顔のチェックをしてみてください。朝のわずかな時間でも毎日続けることで自然と笑顔が身につき、生き方や考え方も前向きに変わっていきます。笑顔で過ごすことによって明るい未来の兆しも見えてくるのではないのでしょうか。



無表情で鏡を見ると
ほとんど顔が見えません



しかし笑顔向けると…？



顔がはっきりと
見えるようになります！
(無表情のまま数十秒経つと
再び鏡面が暗くなります。)

第7回(平成25年度) 佳作

「DOKO light」

川村 悠可 (受賞時: 東京工業大学大学院修士 1 年)

DOKO light

～ライトが灯す、家族の環～

CONCEPT

共働き世帯の増加・子供の学習塾などにより、家族の生活リズムは過去と大きく変わってしまった。これは、ばらばらの時を生きる家族がいま、どこにいるのだろうかという不安を払拭するための照明である。

about DOKO light

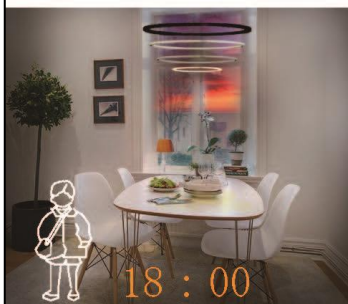
ライトの1つ1つは家族の携帯電話のGPSと連動している。誰かが帰宅して家の電気の主電源を入れたら、在宅中の人のランプは光度MAXで光る。また、外出中の家族のGPSと連動しているライトは、会社～家、塾～家への接近状況によって、光度0の状態から徐々に明るくなる。よって、それぞれの場所で過ごす家族に、申し訳ない思いながら、メールや電話などで所在地の確認を入れなくて済む。

家族全員のライトが灯ると、あたたかな夕食がはじまるような、幸せに満ちた使い方が想定される。これは、家族の気配や団欒のきざしが感じられる、「あたたかな家族の環」の象徴である。



9:00

全員外出後、自動的にライトは消灯する



18:00

子供が習い事から帰宅。母親と姉がもうじき帰宅することがわかる



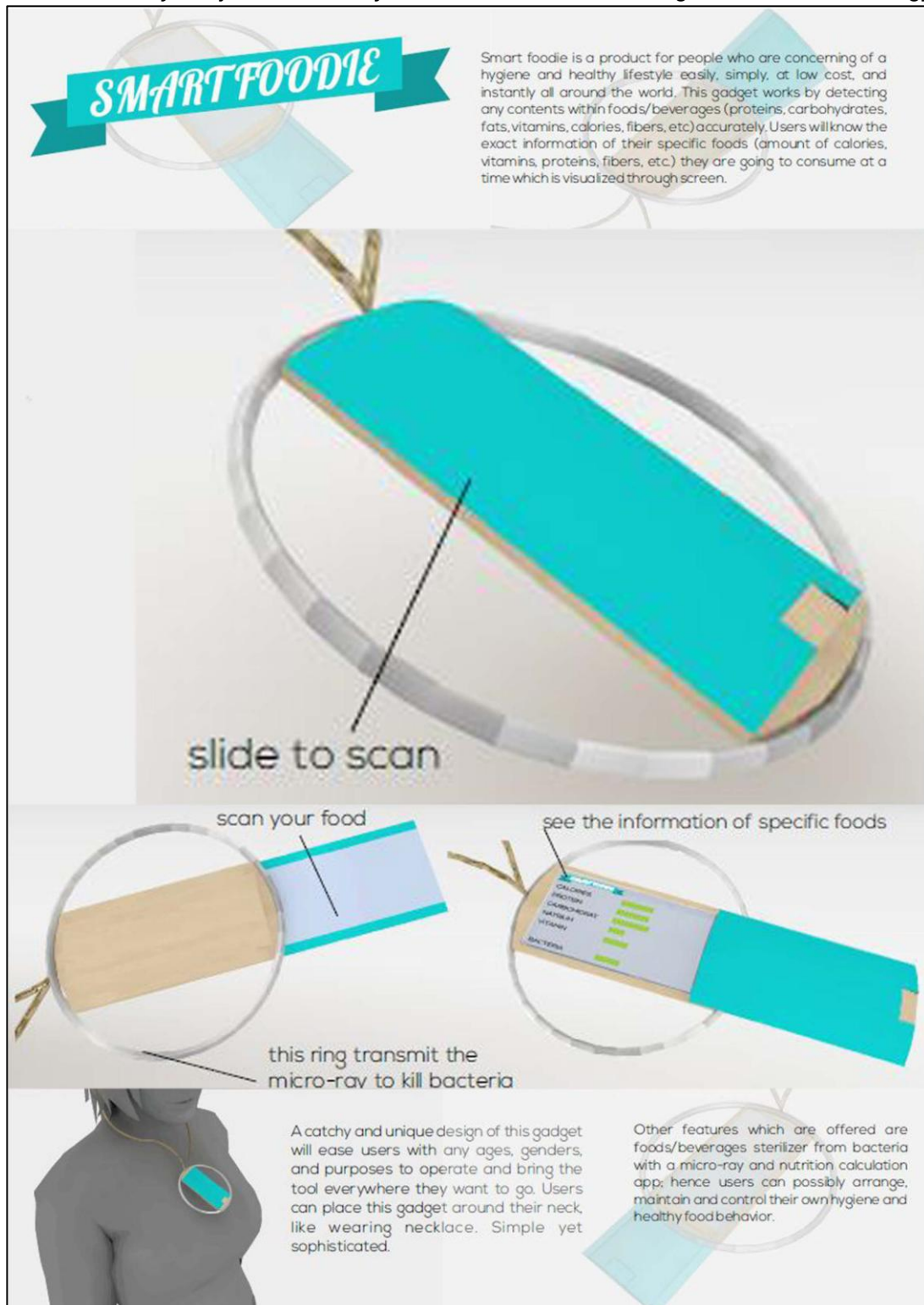
20:00

父親が帰宅。姉は少し寄り道して遅くなったようだ。みんな揃ったところで、あたたかな食卓がはじまる。

第7回(平成25年度) 佳作

「SMART FOODIE」

Clarissa Olivia / Dhiya Teja M. / Giofanny Chintia R. (受賞時: Bandung Institute of Technology)



第7回(平成25年度) 佳作

「HIDAMARI SHADE」

瀧山 愛（受賞時：千葉大学大学院修士1年） / 渡邊 理恵（受賞時：千葉大学大学院修士1年）

朝のきざし
朝日を感じるブラインド
HIDAMARI SHADE

人工的な室内で生活する私たちは、朝のきざしを感じて自然に目覚めることが出来ません。HIDAMARI SHADE は朝の光を受けて羽の向きを変え、自然に開くブラインドです。木漏れ日のような光を作り出すことであなたを自然な目覚めへと導きます。

1
朝日を受けて徐々に羽が開き、心地良い目覚めを促す

structure
motor
solar panel
reflective glass

それぞれの羽についたソーラーパネルが朝日を蓄積し、一定の光量が溜まると開く仕組みになっています。上の羽ほど必要な光量が小さく設定されているため上から徐々に開いていきます。

2
季節による日の出時間のズレに対応

個々の羽が蓄積する電気の量を段階的に調節し、日の出時間の違いに対応します。夏は日の出が4:30~5:30と早く、光量が多いため上の方の羽は冬より強い光量が無いと開きません。

ex. AM7:00 Summer Winter

電源
押す度にモードが切り替わる
on > summer
> spring & autumn
> winter > off

スーパーボール式
電源 off 時には手で羽の向きを調節可能